

一般社団法人

日本テレマン協会

2022年度活動報告書

バツハからベートーヴェンまで  
日本テレマン協会  
since 1963



Telemann Institute Japan



## CONTENTS

---

4	TOPICS
5	日本テレマン協会について
5	日本テレマン協会について
5	テレマンとは
6	延原武春
7	テレマン室内オーケストラ
7	テレマン室内合唱団
8	公演記録
8	定期演奏会
11	マンスリーコンサート
14	依頼公演について
16	学校公演について
17	社会的活動について
18	年表
20	日本テレマン協会後援会について
20	役員名簿
20	年表
21	法人会員
21	個人会員
22	日本テレマン協会ディスコグラフィー





2023年1月13日 第293回定期演奏会 公演風景



8月30日 第528回マンスリーコンサート リハーサル風景



5月11日 レコーディング風景



6月5日 西神中央ホール<まちなかフェス> 公演風景



2023年3月25日7 第196回教会音楽シリーズ リハーサル風景





2023年2月14日 第532回マンスリーコンサート リハーサル風景



6月26日 ホテルモントレ京都 ランチコンサート 公演風景



10月31日 教会音楽シリーズ特別講演 公演風景



9月22日 ガスビル食堂 ランチコンサート 公演風景



10月25日 御霊神社 第7回テレマンバロックコンサート 公演風景



11月10日 ホテルモントレ銀座 ランチコンサート 公演風景



11月12日 池田市民文化会館 第49回バロックコンサート 公演風景



2023年1月13日 第293回定期演奏会 リハーサル風景



# TOPICS

## 教会音楽シリーズ再開

合唱を伴う教会音楽シリーズは2020年のコロナ禍より実施出来ていませんでしたが、2023年3月より再開することが出来ました。再開に際し、以前と大きくスタイルを変えた点があります。

教会の入口の上には楽廊と呼ばれるスペースがあります。パイプオルガンが設置され、合唱を行うための場所です。バッハが音楽監督を務めたトーマス教会も同じような作りになっており、18世紀に

は受難曲は楽廊で演奏されていました。聴衆は楽団に背を向けており、受難曲などの演奏は「神に向けて」行われました。

カトリック夙川教会にも楽廊が存在します。この度の教会音楽シリーズ再開にあたり、本格的な18世紀のスタイルを取り入れ、楽廊から演奏するという日本では珍しいスタイルを取り入れました。演目としてはテレマン作曲「マタイ受難曲」1730年版を取り上げました。



## 音楽監督延原武春 テレビ出演

音楽監督延原武春がBSテレ東「おんがく交差点」(4月1日(土)朝8時30分放送分)に出演しました。

ヴァイオリニストの大谷康子氏との共演でバッハ作曲「アリオーズ」とモリコーネ作曲「ガブリエルのオーボエ」を演奏し、落語家の春風亭小朝氏との対談で自身の来歴や作曲家テレマンへのこだわり、日本テレマン協会60周年について語りました。



## ランチ付きコンサート

新聞社・旅行社主催によるランチ付きコンサートが累計52回となりました。会場としてはガスビル食堂、ホテルモントレグループ(大阪・難波・銀座・京都・姫路)、ニューオーサカホテル心齋橋で実施しました。

2020年のコロナ禍がきっかけとなり、大阪ガス株式会社様主導により始まった企画で、ランチの後に1時間程度のコンサートをご鑑賞いただくという内容です。音楽監督延原武春が理想とする「生活に密着したクラシック音楽」を体現する企画として定着し、新しい顧客層の獲得に成功しました。



# 日本テレマン協会 について

## 日本テレマン協会について

日本テレマン協会は1963年、当時音楽大学の学生であった延原武春（現音楽監督・CEO）が、作曲家テレマンの作品と音楽に対する理念に感銘を受け創設した、18世紀の音楽を専門とする演奏団体です。定期演奏会、マンスリーコンサート、教会音楽シリーズの3種類の主催公演を柱として、関西を拠点に50年以上活動し、これまでに文化庁芸術祭優秀賞やサントリー音楽賞などを受賞しました。2008年には協会創立

45周年を記念し、初演当時の楽器を使用したベートーヴェンの交響曲全曲公演を開催。このことが契機となり延原武春はドイツから功勞勲章功勞十字小授章を受賞しました。また、未来の文化の担い手を育てるため、学校などへの出張コンサートにも積極的に取り組んでいます。

2019年には創設時からの演奏会プロデュース活動によるクラシック音楽普及に対する功績が認められ、ベストプロデュース賞を受賞しました。

音楽監督・CEO：延原武春

副代表：奥田博子

ヨーロッパ総局長：高野昭夫

ミュージックディレクター／

テレマン室内合唱団指揮者：パブロ・エスカンデ

古典鍵盤楽器奏者：高田泰治

ソロ・コンサートマスター：浅井咲乃

首席客演コンサートマスター：ウッラ・ブンディース

エグゼクティブ・アドヴァイザー：和田誠一郎（弁護士）・永重史郎

オフィス・アドヴァイザー：奥田忠道

アドヴァイザー：辻 一郎（元毎日放送取締役）

和田省一（朝日放送音楽振興会理事長）

笠谷和比古（国際日本文化研究センター名誉教授）

上山信一（慶應大学教授 / 大阪府市特別顧問 / 愛知県政策顧問）

園崎明夫（元毎日新聞執行役員 大阪本社副代表）

梅本史郎（株式会社MBSメディアホールディングス 顧問）

事務局長：今井 良

事務局：中田吉美・野村菜由・加納永美子・後藤田裕仁子



## テレマンとは

ゲオルク・フィリップ・テレマン（1681年3月14日～1767年6月25日）は後期バロック音楽のドイツ人作曲家。バッハ、ヘンデルも足元に及ばない高い評価を受けていた作曲家で、大変な多作家としても有名です。代表的な作品は「食卓の音楽」という曲集。延原武春はテレマンの自叙伝にあった「人が喜ぶために作曲している」という言葉に感銘を受け、その名前をかかげた楽団を結成しました。

テレマンは大変面倒見の良い人でも

あったそうで、バッハの次男の名付け親でもあり、また自身が音楽監督を務めていたハンブルクで臨終の時を迎える際、後継者にその「次男」カール・フィリップ・エマニュエルを指名したという逸話も残っています。またヘンデルとの親交は深く、ヘンデルはロンドンから様々な珍しい植物をテレマン宛に送っていたそうです。さらに、テレマンが「食卓の音楽」を出版する際、予約者の最初の方にヘンデルの名が入っていたことも有名な話です。



1963年日本テレマン協会の前身である“テレマン・アンサンブル”を結成。以来50年余の歳月を経てその業績は目覚ましく、日本におけるバロック音楽の探究と普及という専門的領域のみならず、その広い視野と行動力によって、特に西日本の音楽文化の広範な普及に多大な貢献をもたらした後、近年では長年の古楽探究を礎とした音楽解釈とその熟練された手腕を持つ巨匠指揮者としての今後が多いに嘱望されている。

指揮者としてライブツィヒ放送交響楽団やゲヴァントハウス・バッハ・オーケストラなどをはじめとする海外のオーケストラとの共演の機会が幾度もあったにも関わらず、その主眼はあくまでも自らが創設した日本テレマン協会での活動に注がれた。1970年代後半からその評価は関西を超えて全国的なものとなり、テ

レマン室内オーケストラ・テレマン室内合唱団との演奏は文化庁芸術祭・優秀賞やサントリー音楽賞を受賞するまでに高く評価されることとなり、さらにはライブツィヒで開催されたバッハ生誕300周年記念国際音楽祭に日本の団体としては唯一招かれる等、ドイツ各地やロンドン、パリ、ボルドー等にも招聘され、M. アンドレ、F. アーヨ、M. ラリュエ、J.P. ランバル、H.J. シェレンベルガー、P. ダム、A. ビルスマ、G. カーなどの名手との共演の他、J.E. ガーディナー、F. ブリュッヘン、C. ホグウッド、G. ボッセ等とも親しく交流することとなる。

延原武春の音楽的業績は、教会の聖堂を舞台としてテレマン作曲の『マタイ受難曲』やマテゾン、テレマン、ヘンデル、カイザーが競作した『ブロックス受難曲』など本邦初演、ヘンデルの『メサ

リア』9種類の異版を1年に一版ごと取り上げるなど枚挙に暇がないが、殊にユニークなのが1982年にベートーヴェンの第九交響曲を初演当時の編成と作曲者指定のテンポに従って演奏すること・・・これはその当時としては極めて斬新なアプローチであったため、ガーディナーやホグウッドといった古楽演奏家達が延原の第九の録音を所望したというエピソードは大変興味深い。延原のベートーヴェンに対するアプローチはこれに留まるものではなく、2006年には第九交響曲をクラシカル楽器（古典派時代の楽器）で演奏。さらに2008年にはクラシカル楽器によるベートーヴェン：交響曲全曲・合唱幻想曲・ミサ・ソレムニス・ツィクルスを挙げる。これが契機となり延原は『ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小授章』を授賞することとなった。



延原の活動の中心には常に日本テレマン協会が存在してきたことは言うまでもないことだが、その合間には海外楽団からの招聘や、岩城宏之音楽監督時代のオーケストラ・アンサンブル金沢や九州交響楽団などからバロックから古典のレパートリーのスペシャリストとして招かれることもあった。2009年には久しぶりに大阪フィルに客演することとなり、2010年～12年には大阪フィルは延原とともにベートーヴェン：交響曲全曲シリーズを主催。『大阪フィルの次代を拓く』と言って過言ではない名演と『田園』がかくも力強く、生命力にみちた音で鳴り響いたことはなかったのではないか（評：故小石忠男／日本経済新聞9月30日夕刊）等と絶賛を博するなど一際大きな話題となった。

また、同時期に日本フィル横浜定期

演奏会にも客演。その際のブラームス：交響曲第1番（第2楽章は初稿）はEXTONレーベルからCD化された。2011年には延原の元に多くのプレイヤーが集う“一日だけのオーケストラ”としてOrchestra Japan 2011が結成され、マーラー：交響曲第4番を演奏。その演奏はライヴノーツ・レーベルからリリースされ『レコード芸術』誌で特選盤に選ばれ、これらの成果が契機となってこのオーケストラは2012年にも再結集され、京都・大阪・神戸でやはりロマン派のレパートリーを取り上げている。2017年に日本センチュリー交響楽団を指揮した「ベートーヴェン：交響曲第6番『田園』ほか」がCD化されてその演奏は各方面から高く評価された。また、近年大阪市中央公会堂で開催している日本テレマン協会定期演奏会大阪公演で

は、会場の雰囲気から「中之島をウィーンに！」というキャッチコピーのもと公演を企画。バロックから古典派にかけての幅広い演目を取り上げる中、2020年から継続的に取り上げているモーツァルトの後期交響曲群は、その澁澁とした解釈や均整の取れた緊張と緩和のバランス感覚などから高い評価を得ている。さらに、サリエリやストリナザッキといった、これまで歴史に埋もれていた作曲家の作品にもスポットを当てることで18世紀音楽のレパートリーの深化と拡充に成功している。

かつて、アーノンクールやガーディナーといった古楽のスペシャリストたちがヨーロッパのモダン・オーケストラから指揮者として招かれるようになったのと似通ったムーブメントが今、延原武春のもとにも起ころうとしている。

## テレマン室内オーケストラ Telemann Chamber Orchestra



1963年に指揮者・延原武春が結成。延原の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の作品を本邦初演。サントリー音楽賞を受賞した日本初のプロオーケストラでもある(同賞は現在も当協会と東京交響楽団、京都市交響楽団以外のプロオーケストラは受賞していない)。そのほかの主な受賞歴は、「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」(関西初)等。

1990年バロック・ヴァイオリン奏者のサイモン・スタンデイジをミュージック・アドバイザーとし、バロック楽器(18世紀当時の楽器およびそのレプリカ)による演奏を始める。2003

年にはドイツのバッハ・アルヒーフから招聘を受け「バッハ・フェスティバル」に出演し、C.P.E. バッハ「チェンバロ協奏曲 Wq1」を世界初演した。

2006年からはクラシカル楽器(古典派の時代に使用された楽器およびそのレプリカ)による演奏を始め、2007年には同楽器によるF.J. ハイドンのオラトリオ「四季」を好演。「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞した。

「マンスリーコンサート」(会場は大阪倶楽部4階ホール)を舞台に「聴衆とともにつくる価値」の創造に力を入れ、そこをベースに様々な奏者を輩出している。チェンバロおよびフォルテピアノの高田泰治、ヴァイオリンの浅井咲乃など

はその代表的な存在として注目を集めている。

2012年にはドイツよりバロック・ヴァイオリン奏者ウッラ・ブンディース氏を首席客演コンサートマスターとして迎えた。

2018年、第九アジア初演百周年記念“よみがえる「第九」演奏会”に出演。

## テレマン室内合唱団 Telemann Chamber Chorus

1969年に延原武春が創設した合唱団。主にテレマン室内オーケストラとともに演奏活動が続けており、1985年には「J.S. バッハ生誕300年記念国際音楽祭」に、日本から唯一招待され参加し現地新聞等やその外電も含め当時大きな評判となる。ホームグラウンドとも言うべきカトリック夙川教会に於ける年4回の「教会音楽シリーズ」は、最も大きな活躍の場となっている。これまでに、ヘンデルの10種類の違ったバージョンを年一回のサイクルで連続的に公演した「メサイア10年連続公演シリーズ」、「ヘンデル本邦初演オラトリオシリーズ」、幻のテレマン作受難曲集の公演「テレマンプロジェクト」、また「延原武春の受難曲シリーズ」を開催するなど、数多くの挑戦的な試みに取り組み、多くの注目と称賛の声を集めている。

特に、大阪のザ・シンフォニーホールにて1983年にスタートした「100

人の第九」と題された公演にはテレマン室内オーケストラと共に出演し、現在でも連続的に継続中しており、人気シリーズとして関西のクラシック音楽の名物公演になっている。

創立50周年を機に、パブロ・エスカンデ氏が合唱団指揮者に、中村朋子氏がディレクターに就任した。エスカンデ氏

は、オランダで作曲家、鍵盤楽器奏者、合唱指揮者としての活躍を経て2012年来日。彼のプログラミングにより、これまで得意としてきた後期バロック時代の作品に加え、初期バロック時代の音楽にも力を入れていくこととなり、新たなレパートリーの拡大とともに、今後の更なる発展が期待される。





# 公演記録

## 【計画時】

主催公演 18公演  
 定期演奏会 9公演  
 マンスリーコンサート 9公演  
 依頼公演 73公演  
 合計 91公演

## 【報告時】

主催公演 19公演  
 定期演奏会 10公演  
 マンスリーコンサート 8公演  
 教会音楽シリーズ 1公演  
 依頼公演 100公演  
 合計 119公演

## 定期演奏会 Subscription Concert

### 日本テレマン協会第286回定期演奏会 テレマンの街ハンブルクから 中之島をウィーンに！

日時 2022年4月8日 18:30  
 会場 大阪市中央公会堂 3階中集會室  
 曲目 F.J. ハイドン：交響曲第6番「朝」  
 W.A. モーツァルト：ピアノ協奏曲第26番  
 W.A. モーツァルト：交響曲第41番「ジュピター」  
 出演 指揮：延原武春  
 フォルテピアノ：高田泰治  
 テレマン室内オーケストラ Classic  
 来場者数 219名  
 備考 ハイドンの前期交響曲とモーツァルトの後期交響曲、協奏曲を組み合わせた公演。昨年来の指揮者延原武春のモーツァルトの好評を受け、2022年度もモーツァルトの後期交響曲をメインに据えたプログラムとなりました。バロックの合奏協奏曲的な作りのハイドンとのコントラストが鮮やかな公演となりました。

### 日本テレマン協会第287回定期演奏会 J.S. バッハ 管弦楽組曲 探求

日時 2022年4月21日 18:30  
 会場 東京文化会館小ホール  
 曲目 J.S. バッハ：  
 管弦楽組曲 第5番  
 2つのヴァイオリンのための協奏曲  
 管弦楽組曲 第2番※オリジナル版  
 管弦楽組曲 第3番※オリジナル版  
 出演 指揮：延原武春  
 ヴァイオリン：浅井咲乃・三谷彩佳  
 コレギウム・ムジクム・テレマン  
 来場者数 293名  
 備考 アメリカの音楽学者リフキン氏の提唱する管弦楽組曲のオリジナル編成による公演。通常は管・打楽器群を含む華やかな編成の第3番は弦楽と通奏低音のみに、フルート独奏の第2番はヴァイオリン独奏に変更して演奏しました。





日本テレマン協会第 288 回定期演奏会	
テレマンの街ハンブルクから 中之島をウィーンに！	
日時	2022年7月15日 18:30
会場	大阪市中央公会堂 3階中集会室
曲目	F.J. ハイドン：交響曲 第7番 ハ長調「昼」 W.A. モーツァルト：ピアノ協奏曲 第21番 W.A. モーツァルト：交響曲 第38番「プラハ」
出演	指揮：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治 テレマン室内オーケストラ Classic
来場者数	323名
備考	4月に実施した第286回公演と同コンセプトの公演。演目は4月のジュピターと比較して少しマイナーなプラハがメインでしたが、コロナ禍も終息に向かいつつあり、集客が少し上向きになった公演となりました。

日本テレマン協会第 289 回定期演奏会	
高田泰治チェンバロリサイタル	
バッハ 平均律クラヴィア曲集第2巻	
日時	2022年7月24日 14:30
会場	東京文化会館小ホール
曲目	J.S. バッハ：平均律クラヴィア曲集 第2巻
出演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	259名
備考	高田泰治によるリサイタル。昨年の第1巻を取り上げた公演の続編。比較的演奏機会の多い第1巻に対し、芸術性の高さに比して演奏機会の少ない第2巻を取り上げたので、非常に珍しい公演となりました。全48曲からなる曲集のため、通常のプログラムだけでは演奏している曲が判別しづらいということで、ホール前面の壁に演奏曲目を投影しながらの公演となりました。



日本テレマン協会第 290 回定期演奏会	
テレマンの街ハンブルクから 中之島をウィーンに！	
日時	2022年10月7日 18:30
会場	大阪市中央公会堂 3階中集会室
曲目	J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲全曲
出演	指揮：延原武春 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃 テレマン室内オーケストラ
来場者数	336名
備考	恒例のブランデンブルク協奏曲全曲公演。マタイ受難曲やヨハネ受難曲、膨大なカンタータなどで「宗教音楽の大家」という認識の強いバッハですが、器楽曲にも素晴らしい作品が多い事を広めたいという延原武春の考えのもと、毎年実施しています。

日本テレマン協会第 291 回定期演奏会	
バッハ ブランデンブルク協奏曲 全曲公演	
日時	2022年11月9日 18:00
会場	東京文化会館小ホール
曲目	J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲全曲
出演	指揮：延原武春 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃 テレマン室内オーケストラ
来場者数	403名
備考	第290回公演と同コンセプトの公演。同曲の演奏としては非常にコンパクトな編成での公演ですが、会場である東京文化会館小ホールの舞台をいっぱいに使った公演となりました。



日本テレマン協会第 292 回定期演奏会

高田泰治チェンバロリサイタル

バッハ ゴルトベルク変奏曲

日 時	2022 年 12 月 10 日 14 : 30
会 場	東京文化会館小ホール
曲 目	J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲 BWV988
出 演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	285 名
備 考	恒例となったゴルトベルク変奏曲の公演。ブランデンブルク協奏曲公演と同様、バッハの器楽作品の素晴らしさにスポットを当てた公演。高田は毎年、少しずつ変化を持たせた演奏をしています。

日本テレマン協会第 293 回定期演奏会

テレマンの街ハンブルクから 中之島をウィーンに！

日 時	2023 年 1 月 13 日 18 : 30
会 場	大阪市中央公会堂 3 階中集会室
曲 目	F.J. ハイドン：交響曲 第 8 番 ト長調「晩」 R. ストリナザッキ：ヴァイオリン協奏曲 W.A. モーツァルト：交響曲 第 40 番 ト短調
出 演	指揮：延原武春 ヴァイオリン：浅井咲乃 テレマン室内オーケストラ Classic
来場者数	305 名
備 考	第 286 回、第 288 回公演と同様のコンセプトの公演。協奏曲はモーツァルトと同時代の女流作曲家ストリナザッキによるヴァイオリン協奏曲で、ピリオド楽器での演奏は本邦初演となりました。18 世紀における女流作曲家の作品を現代の女流ヴァイオリニストが演奏するというので、ジェンダー平等の観点から新聞の社会面でも大きく取り上げられました。

日本テレマン協会第 294 回定期演奏会

鷲見敏リサイタル

バッハ無伴奏組曲全曲

日 時	2023 年 1 月 20 日 18 : 00
会 場	東京文化会館小ホール
曲 目	バッハ：無伴奏チェロ組曲 第 1 番 ト長調 BWV1007 第 2 番 ニ短調 BWV1008 第 3 番 ハ長調 BWV1009 第 4 番 変ホ長調 BWV1010 第 5 番 ハ短調 BWV1011 第 6 番 ニ長調 BWV1012
出 演	チェロ / チェロ・ピッコロ：鷲見 敏
来場者数	391 名
備 考	当協会首席チェロ奏者の鷲見敏によるバッハの無伴奏チェロ組曲のリサイタル。ピリオド楽器を用いた全曲のリサイタルは日本ではまだまだ珍しく、昨年の公演に引き続き、集客状況は大変良好なものとなりました。全曲を通常のチェロで演奏することも出来ませんが、作曲者の指定では通常のチェロで演奏出来るのは第 1 番～第 4 番までとなっており、第 5 番はスコルダトゥーラと呼ばれる変則的な調弦で、第 6 番は 5 本の弦を有するピッコロ・チェロを用いて演奏しました。

日本テレマン協会 第 295 回定期演奏会

(第 196 回教会音楽シリーズ)

協会創立 60 周年プレ事業

G.Ph. テレマン マタイ受難曲 1730 年版

※詳細は教会音楽シリーズ欄に記載。



# マンスリーコンサート Monthly Concert

## 日本テレマン協会第 526 回マンスリーコンサート

高田泰治リサイタル

バッハ 平均律クラヴィア曲集第 2 巻

日 時	2022 年 5 月 27 日 18:30
会 場	大阪倶楽部 4 階ホール
曲 目	J.S. バッハ：平均律クラヴィア曲集 第 2 巻
出 演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	127 名
備 考	第 289 回定期演奏会に先駆けて、大阪で同演目の公演を実施しました。東京公演同様、演奏箇所が分かりやすいよう、曲目をホール全面にスライド投影しながらの公演となりました。



## 日本テレマン協会第 527 回マンスリーコンサート

バロック時代に花咲いた「大」協奏曲 合奏協奏曲の夕べ

日 時	2022 年 6 月 17 日 18:30
会 場	大阪倶楽部 4 階ホール
曲 目	G.Ph. テレマン：ソナタ ニ長調 TWV44:1 協奏曲 ホ短調 TWV 52:e4 G.F. ヘンデル：合奏協奏曲 ニ長調 op.6 no.5 A. ヴィヴァルディ：協奏曲 ト短調 RV156 協奏曲 ニ短調 op.3 no.11 A. コレリ：合奏協奏曲 ヘ長調 op.6 no.9 G. ジェミニアーニ：合奏協奏曲「ラ・フォリア」
出 演	指揮：延原武春 ヴァイオリン：浅井咲乃・三谷彩佳 チェロ：鷺見 敏 テレマン室内オーケストラ
来場者数	133 名
備 考	バロック時代特有の合奏協奏曲にスポットを当てた公演。コレリからジェミニアーニ、ヴィヴァルディ、ヘンデル、テレマンへと時代や国を変えながら発展した合奏協奏曲の歴史をたどるような公演となりました。

## 日本テレマン協会第 528 回マンスリーコンサート

浅井咲乃リサイタル

ヴァイオリンで綴る名曲の夕べ

日 時	2022 年 8 月 30 日 18:30
会 場	大阪倶楽部 4 階ホール
曲 目	G.Ph. テレマン：四声部のためのソナタ イ長調 F. シューベルト：ロンド イ長調 F. メンデルスゾーン：シンフォニア 第 3 番 山田耕作：弦楽四重奏曲 第 2 番 芥川也寸志：バラード（譚詩曲） F. クライスラー：美しきロスマリン ロンドンデリーの歌 M. ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ P. サラサーテ：チゴイネルワイゼン
出 演	ディレクター：延原武春 ヴァイオリン：浅井咲乃 テレマン室内オーケストラ
来場者数	156 名
備 考	当協会ソロ・コンサートマスターの浅井咲乃の選曲による公演。山田耕作や芥川也寸志といった邦人作曲家の作品も演奏しました。



日本テレマン協会第 529 回マンズリーコンサート

村田佳生リサイタル

リコーダーで辿るイタリアン・バロック

日 時	2022 年 9 月 30 日 18:30
会 場	大阪倶楽部 4 階ホール
曲 目	T. メールラ：チャッコーナ D. カステッロ：ソナタ 第 2 番 F.M. ヴェラチーニ：リコーダー・ソナタ 第 6 番 A. ヴィヴァルディ：室内協奏曲 イ短調 RV108 B. マルチェッロ：リコーダー・ソナタ ハ長調 F. マンチーニ：リコーダー・ソナタ 第 1 番 A. ヴィヴァルディ：協奏曲 ハ長調 RV443
出 演	ディレクター：延原武春 リコーダー：村田佳生 テレマン室内オーケストラ
来場者数	232 名
備 考	当協会リコーダー独奏者の村田佳生によるリサイタル。イタリアバロックの歴史をリコーダーで辿るというコンセプトの公演で、小規模の室内楽から協奏曲まで、幅広い分野の作品を取り上げました。多くの日本人にとって最も馴染みのある楽器であるリコーダーが、バロック時代には花形の楽器であり、技術を磨けば華やかな協奏曲のソリストを務めることも出来るということで、新鮮に感じられた方も多くいらっしゃいました。



日本テレマン協会第 530 回マンズリーコンサート

高田泰治リサイタル

ゴルトベルク変奏曲

日 時	2022 年 12 月 6 日 18:30
会 場	大阪倶楽部 4 階ホール
曲 目	J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲 BWV988
出 演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	145 名
備 考	第 292 回定期演奏会と同様のコンセプトの公演。毎年恒例で聴いて頂きたい演目ということで継続的に本作品を取り上げていますが、リピーターの方も着実に増加しています。



日本テレマン協会第 531 回マンズリーコンサート

鷺見 敏リサイタル

バッハ無伴奏組曲全曲

日 時	2023 年 1 月 17 日 18:00
会 場	大阪倶楽部 4 階ホール
曲 目	バッハ：無伴奏チェロ組曲 第 1 番 ト長調 BWV1007 第 2 番 ニ短調 BWV1008 第 3 番 ハ長調 BWV1009 第 4 番 変ホ長調 BWV1010 第 5 番 ハ短調 BWV1011 第 6 番 ニ長調 BWV1012
出 演	チェロ / チェロ・ピッコロ：鷺見 敏
来場者数	107 名
備 考	第 294 回定期演奏会東京公演に先駆けて、同様の内容を大阪で実施しました。長時間にわたる公演でしたが、本格的なバッハの無伴奏チェロ組曲の公演ということで、大変好評を博しました。

日本テレマン協会第 532 回マンズリーコンサート

My Funny Valentine

日 時	2023 年 2 月 14 日 18:30
会 場	大阪倶楽部 4 階ホール
曲 目	ショスタコーヴィッチ：ジャズ組曲 踊りあかそう、Fly me to the moon、モナリザ マリア・エレナ、キエン・セラ、雪が降る パリに帰りて、My Funny Valentine It's sin to tell a lie、For sentimental reasons Can't Help Falling In Love、I will wait for you テネシーワルツ、Let me try again
出 演	指揮：延原武春 ヴォーカル：原田紀子・永海 孝 Stomp in Telemann テレマン室内オーケストラ MC：今井由美 "
来場者数	154 名
備 考	毎年恒例のスタンダード JAZZ の公演。公演冒頭にはロシアの作曲家ショスタコーヴィッチが作曲したジャズ組曲を取り上げました。



日本テレマン協会第533回マンズリーコンサート  
高田泰治リサイタル  
大バッハ鍵盤音楽の至宝

日 時	2023年3月31日 18:30
会 場	大阪倶楽部 4階ホール
曲 目	J.S. バッハ トッカータ ニ短調 BWV913 イギリス組曲 第6番 ニ短調 BWV811 トッカータ ホ短調 BWV914 イギリス組曲 第5番 ホ短調 BWV810 トッカータ ト短調 BWV915
出 演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	118名
備 考	バッハの鍵盤音楽にスポットを当てた公演。 作品の世界観が自然に移り変わるよう、近親調のトッカータとイギリス組曲を組み合わせたプログラムとなりました。

## 教会音楽シリーズ Church Concert

### 特別教会シリーズ特別講演会

#### 聖書物語

～クーナウ「聖書ソナタ」を読み解く～

日 時	2022年10月31日 18:30
会 場	カトリック夙川教会聖堂
曲 目	D. ガブリエッリ：リチェルカーレ J. クーナウ：聖書物語の音楽的描写 聖書ソナタ第1番, 第3番, 第6番 A. ヴィヴァルディ：チェロ・ソナタ 第9番
出 演	講演：F. クルプシュ 通訳：木村能里子 チェンバロ：高田泰治 チェロ：鷲見 敏
来場者数	102名
備 考	ドイツから来日したクルプシュ神父による講演とクーナウ「聖書ソナタ」を組み合わせた公演。聖書ソナタに描かれた情景についての詳しい解説を聴くという非常に珍しい機会となりました。

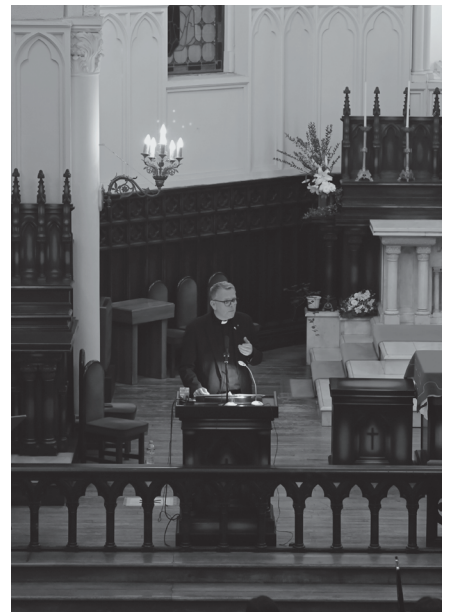
### 第196回教会音楽シリーズ

(日本テレマン協会 第295回定期演奏会)

協会創立60周年プレ事業

G.Ph. テレマン マタイ受難曲 1730年版

日 時	2023年3月25日 13:30
会 場	カトリック夙川教会聖堂 楽廊
曲 目	G.Ph. テレマン：マタイ受難曲 1730年版
出 演	指揮：延原武春 福音史家：新井俊希 イエス：篠部信宏 テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ
来場者数	149名
備 考	テレマンのマタイ受難曲は18世紀の流行のスタイルで書かれており、バッハの同曲ほど長大で深刻ではありません。教会楽廊から演奏する、非常に珍しい「神に向けた演奏」というスタイルの公演となりました。





# 依頼公演 について

自治体、企業、団体、ホールなどからの依頼公演を100公演開催し、18世紀音楽の普及に努めるとともに、都心部から離れた会場での公演では、地域のサロンづくりに貢献することが出来ました。

単年度ではなく、継続的にご依頼いただいている公演は「第九 de クリスマス（大阪市／ザ・シンフォニーホール）」、「バ

ロックコンサート（池田市／池田市民文化会館）」、「テレマンのバロックの宴（伊丹市／旧岡田家住宅・酒蔵）」、「学園前公演（奈良市／学園前ホール）」、「テレマンコンサート in 中崎公会堂（明石市／中崎公会堂）」などとなっております。

令和4年度にはウェブ産経（産経新聞社）や毎日新聞旅行、クラブツーリズム、京都新聞旅行、神戸新聞旅行、わい

ず倶楽部（読売新聞）、アサヒファミリーニュースといった旅行社・新聞社との協働企画によるガスビル食堂やホテルモントレ大阪等での食事付きの公演企画が増えました。





**第九deクリスマス**  
Symphony No. 9 Christmas

指揮者 延原武春  
100人の第九  
交響曲 第9番 一楽章「合唱付」 Op.125

テレマンのクリスマス名曲集  
「3つのトランペットとティンパニのための協奏曲」上 第1、2楽章  
ホルンベル・カン  
J.S.バハ  
アダマンブルク協奏曲 第3番 1楽章 Op.17.1008 2: 第1楽章  
ハイン・セレナーダ  
モーツァルト「メスエイク」(イヴヴェルテメント) 第17番 第3楽章 Op.1  
モテット「アヴェ・ヴェルギン・ムルゴス」 K.468  
ヘンデル「ハレルヤ・コーラス」(オラトリオ「メサイア」)  
クリスマス・キャロル「まきひとのつじを」「もろごころりて」

2022 12/25 (日) 13:00開演 (12:30pm開場) ザ・シンフォニーホール  
A.5,500円 B.4,500円 C.3,000円(税別) 主催 延原武春 協力 ザ・シンフォニーホール  
7/21日発売  
A.B.Cチケットセンター  
TEL:045-523-2323  
A.B.Cチケットセンター  
TEL:045-523-2323  
A.B.Cチケットセンター  
TEL:045-523-2323

美しき口の音  
高田泰治

12月16日(木) 19:00開演  
12月17日(金) 14:00開演

テレマンの酒蔵コンサート  
TELEMANN  
リネー・バスターナルコンサート  
Special concert

10/16(日) 14:00開演  
10/17(月) 14:00開演

Baroque  
リネー・バスターナルコンサート  
Special concert

10/22(日) 14:00開演  
10/23(月) 14:00開演

テレマンコンサート  
in 中崎公会堂

2022 10/23 (日) 開演 14:00 開場 13:30

船場の賑わいを今に伝える  
→ 第7回 →  
テレマン名曲コンサート  
2022  
10月25日(火)

大谷康子 with 延原武春  
テレマン室内オーケストラ

10/29(日) 13:00開演  
10/30(月) 13:00開演

音楽の父  
バッハ八曲曲選

11月12日(土)

延原武春 テレマン  
室内オーケストラ

12/3 (日) 13:30開演 / 14:00開演

第22回 平野区  
クリスマスコンサート  
テレマン室内オーケストラ  
からの混声合唱団

2022年12/4(日) 14:00開演

第九  
12月10日(土)

GE HANDEL  
MESSIAH  
第42回レガメサイア

2022 12/11 (土) 14:00開演

Baroque  
パロク音楽の福袋  
2023 新春

1月22日(日) 14:00開演

テレマン室内オーケストラ  
ニュー・イヤー・コンサート

2023年1月22日(日) 14:00開演

テレマンのテレマン  
テレマン室内オーケストラ

3月9日(日) 14:00開演

### 依頼公演の分布 (月別)

依頼公演	(主催公演)
4月	4公演 (2公演)
5月	6公演 (1公演)
6月	6公演 (1公演)
7月	8公演 (2公演)
8月	2公演 (1公演)
9月	7公演 (1公演)
10月	15公演 (2公演)
11月	17公演 (1公演)
12月	15公演 (2公演)
(2021年)	
1月	8公演 (3公演)
2月	2公演 (1公演)
3月	10公演 (2公演)
合計	100公演 (19公演)

### 依頼公演の分布 (地域別)

北海道	石川県	岡山県	2公演
青森県	福井県	広島県	
岩手県	山梨県	山口県	
宮城県	長野県	徳島県	1公演
秋田県	岐阜県	香川県	1公演
山形県	静岡県	愛媛県	
福島県	愛知県	高知県	
茨城県	三重県	福岡県	3公演
栃木県	滋賀県	佐賀県	
群馬県	京都府	長崎県	
埼玉県	大阪府	熊本県	2公演
千葉県	兵庫県	大分県	
東京都	奈良県	宮崎県	1公演
神奈川県	和歌山県	鹿児島県	2公演
新潟県	鳥取県	沖縄県	1公演
富山県	島根県	その他	

# 学校公演 について

2022年度の学校公演は、令和3年度文化庁補正予算事業「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」（以下体験再興事業）を受託しました。

体験再興事業は鑑賞だけではなく体験にも重点を置いた事業であるため、公演に際しては共演のプログラムを用意しています。公演の内容は、バロック時代の有名な曲を中心に構成し、鑑賞する児童・生徒

に馴染みの深いリコーダーの独奏曲や協奏曲などを取り上げております。基本的には短い曲が多い構成となっていますが、プログラムを順にお聴き頂くと、各弦楽器からチェンバロ、トランペットと、バロック音楽のオーケストラで使用されている楽器について学べるように構成されています。さらに、プログラムにはバロック音楽や楽器についての簡便な説明も掲載しています。

## ◎子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業とは

新型コロナウイルス感染症の影響により、子供たちへ文化芸術の鑑賞・体験をさせる機会が失われてきましたが、その機会を再興するため、小学校・中学校・高等学校等において、文化芸術団体のプログラムを提

供し公演を実施するほか、小学校・中学校・高等学校等が希望する文化芸術団体等との鑑賞・体験教室を開催する場合の支援を目的とします。

(子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業手引書より)

## 体験再興事業の日程

- 5月25日 与論町立与論小学校
- 6月10日 延岡市立北川小学校
- 6月11日 鹿児島市立坂元中学校
- 6月23日 大田原市立石上小学校
- 7月11日 福岡県立筑紫中央高等学校
- 9月20日 高岡市立下関小学校
- 10月12日 坂出市立瀬居中学校
- 10月13日 阿波市立吉野中学校
- 10月18日 福岡市立城南小学校
- 10月19日 北九州市立鞆ヶ谷小学校
- 11月14日 北秋田市立鷹巣東小学校
- 11月15日 洋野町立大野中学校
- 11月21日 大阪市立昭和中学校
- 12月6日 津市立晴嵐小学校
- 12月13日 国頭村立国頭中学校
- (2023年)
- 1月25日 上天草市立阿村小学校
- 1月26日 五木村立五木東小学校
- 2月2日 一関市立東山小学校





# 社会的活動 について

## 国際交流への協力

関西日豪協会主催「オーストラリア DAY スペシャルコンサート」にテレマン室内オーケストラ首席フルート奏者の森本英希とリュート奏者高本一郎が出演しました。

オーストラリアと密接な関係のあるイギリスのバロック音楽の他、オーストラリアの第二の国家と呼ばれる「ワルツィング・マチルダ」を在大阪オーストラリア総領事館のトレバー・ホロウェイ総領事をはじめとする参加者に披露しました。

### オーストラリア DAY スペシャルコンサート

日 時	2023年1月25日(水)
会 場	リーガロイヤルホテル大阪「桂の間」
曲 目	G.F. ヘンデル：フルート・ソナタ 【イギリス民謡】 グリーン・スリーヴス スカボロー・フェア サリー・ガーデン 【リュート・コーナー】 【フルート・コーナー】 G.Ph. テレマン：ソナタ J.S. バッハ：組曲
出 演	フルート：森本英希 リュート：高本一郎



## 再生紙の使用

マンスリーコンサート（年間8公演）のチラシ（A4サイズ）及びプログラム（B4サイズ）、定期演奏会（年間8公演）のプログラム（A3サイズ）には、環境に配慮し、100%リサイクルの再生ケント紙である「クラークケント」を使用致しました。

## 25歳以下 1000円券

若い世代のクラシック音楽離れが顕著になっている中、18世紀音楽のすばらしさを気軽に味わっていただき、文化振興の一助になればという思いから、主催公演では25以下の方向けに1000円券の販売を実施しました。

## 子供向けコンサートの実施

クラシック音楽ファン層の次世代・次々世代育成のために親子で楽しめるファミリーコンサートを、あすとホールや公益財団法人いたみ文化・スポーツ財

団と協力し、実施しました。お子様にも親しみやすい演目を中心に、大人も楽しめる企画となりました。



# 年表

## 1960s

1963

延原武春を中心にテレマンアンサンブル発足。  
(現：テレマン室内オーケストラ)

1965

定期演奏会スタート。

1966

大阪文化祭賞 (以後 72 と 82)

1968

マンズリーコンサートスタート (会場は津村別院)

1969

テレマン室内合唱団が発足し、室内楽における総合団体  
「大阪テレマン協会」となる。

## 1970s

1970

音楽クリティッククラブ賞 (以後 75 と 76)

1975

大阪府民劇場賞 (以後 85)

1977

文化庁芸術祭優秀賞 (関西より初受賞)  
ビクターレコード制作「テレマン協会シリーズ」発売開始。

## 1980s

1981

G.Ph. テレマン生誕 300 年を記念し、コンサート  
(文化庁芸術祭主催)、出版、レコードを発売。

1982

定期演奏会にて L.v. ベートーヴェン交響曲第 9 番「合唱付」  
を合唱団・オーケストラ合わせて 100 人で演奏(100 人の第九)。  
テレマン室内管弦楽団がドイツへ演奏旅行。テレマンの生地  
マクテブルクでの公演実現。

1984

マンズリーコンサートの会場が大阪倶楽部になる。

1985

テレマン室内合唱団・同管弦楽団総勢 70 名、東ドイツ  
へ演奏旅行。(“バッハ生誕 300 年記念国際音楽祭” に出演)  
サントリー音楽賞 (関西より初受賞)

1987

「ベルリン市制 750 年記念音楽祭」に参加。また、ロンドン  
デビュー公演を実現。  
「ソウル国際音楽祭」参加。日本の室内楽団では初の韓国公演。

1989

テレマン室内合唱団が創立 20 周年を迎え、教会音楽シリーズ  
も 100 回記念演奏会を行う。  
フランス革命 200 年を記念し、パリ、ボルドー、ヴァルドアール  
各都市で公演を行う。

## 1990s

1991

バロック楽器の団体「コレギウム・ムジクム・テレマン」が  
発足。サイモン・スタンデイジヤや中野振一郎主導のもとで、  
様々な試みに着手。海外公演や CD 収録の他、数多くの本邦  
初演・世界初演を行う。  
G.F. ヘンデル「メサイア」の異なった 9 種の版を連続的に  
公演。(～ 01)

1993

季刊誌「ゲオルク」創刊 (～ 03)

1995

G.F. ヘンデルの権威・故渡部恵一郎氏の監修のもと、ヘンデル  
作曲の本邦初演のオラトリオをジェスチャー付きで連続  
公演。(～ 01)

1999

中野振一郎&コレギウム・ムジクム・テレマンによるドイツ  
演奏旅行。

## 2000s

2000

ヘンデルのオラトリオ公演にて、上方講師・旭堂南左衛門  
が共演。  
琵琶湖水質浄化の紙の使用開始。演奏会を通じた環境改善活  
動に着手。  
小説「延原武春」(作：中野順哉)が東方出版より出版。  
【CD】「J.S. バッハ：チェンバロ協奏曲集」

2002

御当地の歴史を取材した創作講談とのコラボレーション  
「音楽絵巻」がスタート。  
高田泰治がチェンバロ、フォルテピアノ、ピアノを弾き分  
ける協奏曲の夕べに出演し、ソリストデビュー。  
【CD】「ラ・フォリア」  
【CD】「バッハ以降のチェンバロ協奏曲集」

2003

中野振一郎率いるコレギウム・ムジクム・テレマンがドイツ  
へ演奏旅行。「バッハ・フェスティバル in ライプツィヒ  
2003」に出演し、C.P.E. バッハ作曲「チェンバロ協奏曲」



の復元後、世界初演を行う。

【CD】「オーボエ協奏曲・バロック名曲集」

2004

【CD】「星に願いを」

2007

ハイドン作曲オラトリオ「四季」の公演が大阪文化祭グランプリ受賞。

2008

協会創立45周年を記念して、延原指揮によるベートーヴェン交響曲全曲及び合唱幻想曲、荘厳ミサ曲連続公演を開催。ベートーヴェンの指示したテンポとクラシカル楽器の使用によるこの公演は高く評価されCDに。

【CD】「テレマン作品集②7つのトリオ・ソナタ」

2009

【CD】「ベートーヴェン・チクルス」リリース。(～11)

延原、ドイツ連邦共和国より功勞勲章を受章。

延原が大阪フィルハーモニー交響楽団を指揮するシリーズ(ベートーヴェン交響曲全曲)が始まる。

「テレマン室内管弦楽団」改め「テレマン室内オーケストラ」に改称。

2010s

2010

延原、日本フィルハーモニー交響楽団の横浜定期演奏会を指揮。

2011

コレギウム・ムジクム・テレマン解散。

「指揮者・延原で」というコンセプトをもとに、関西在住のフリーランスの奏者を集めオーケストラ Orchestra Japan 2011 を結成し、マーラー交響曲第4番を演奏。

【CD】「ブラームス：交響曲第1番」

【CD】「高田泰治チェンバロ・アルバム Vol.1」

ウッラ・ブンディース、首席客演コンサートマスターに就任。

2012

延原、Orchestra Japan 2011 を率いてドヴォルザーク交響曲「新世界より」を好演。

【CD】「マーラー『亡き児を偲ぶ歌』『交響曲第4番』(レコード芸術)特薦盤」

【CD】「浅井咲乃：ヴィヴァルディ『ムガール大帝』」

創立50周年事業「大大阪ターフェルムジーク」を開催。

2013

【CD】「U. ブンディース 高田泰治 J.S. バッハ 6つのソナタ」 Orchestra Japan 2011 を再結成し、3月11日にレクイエムを奏で続ける追悼公演を開始。

2014

ブランデンブルク州知事に対し、J.S. バッハ「ブランデンブルク協奏曲」全曲を大阪にて連続公演することを公約しシリーズ開始。

大阪市中央公会堂での定期演奏会がスタート。

2015

【CD】「高田泰治 モーツァルト・アルバム」

【CD】「U. ブンディース 高田泰治 モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ」

2016

【CD】「高田泰治 うつろい」、

【CD】「高田泰治 J.S. バッハ ゴルトベルク変奏曲」

高田泰治がシーボルト賞受賞式にてドイツ大統領御前演奏に出演。

延原武春が音楽監督兼 CEO に就任。

2017

高田泰治が平成28年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞。

【CD】「U. ブンディース 高田泰治 古典派二重奏曲の系譜」定期演奏会「中之島をウィーンに！」シリーズがスタート。

2018

創立55周年記念事業「テレマンの街ハンブルクから 中之島をウィーンに！」を開催。

延原武春指揮テレマン室内オーケストラが、第九アジア初演百周年記念「よみがえる「第九」演奏会」に出演。

【CD】「高田泰治ベートーヴェン・アルバム」

2019

浅井咲乃が平成30年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞。

4月、マンスリーコンサートが500回を迎える。

5月、P. エスカンデ氏がテレマン室内合唱団指揮者に就任。

11月、ベスト・プロデュース賞を受賞。

【CD】「ブランデンブルク協奏曲 全曲」

「高田泰治 ショパン&シューマン ピアノ協奏曲集」

2020s

2020

定期演奏会大阪公演で新型コロナウイルス感染症対策も兼ねた縮小編成のベートーヴェンの交響曲シリーズを実施し、ベートーヴェンが貴族の邸宅で実施していた試演会を再現。

ニューオーサカホテル心齋橋にてテレマン作曲「食卓の音楽」と18世紀当時のメニューを再現したディナーとのコラボレーション企画「18世紀貴族の晩餐会」を実施。

【CD】「延原武春 心のオーボエ Vol.2 アヴェ・マリア」

2021

延原武春オーボエ生活60周年を記念し、リサイタル2公演と個展を実施。

【CD】「延原武春×小林道夫『無言歌』」

【CD】「テレマン作品集③様々な楽器のための協奏曲」

2022

2015年より継続しているバッハ作曲「ブランデンブルク協奏曲」全曲公演が11月開催の第291回定期演奏会(東京公演)で通算10回目を迎える。

# 日本テレマン協会 後援会について

1980年、故鈴木剛氏（元住友銀行頭取）が中心となり日本テレマン協会の活動を支援するために発足。現在は多くの法人、個人の皆様にご加入いただき、さらなる会員の拡大を目指して積極的な活動を続けています。

## 役員名簿

2023年7月現在

会 長	尾崎 裕（大阪ガス）	特別顧問	野村明雄（大阪ガス）
副 会 長	香山 真（住友生命保険） 沖中 進（朝日放送グループホールディングス）	顧 問	齋藤元彦（兵庫県知事） 久元喜造（神戸市長） リチャード・メイ・ジュニア（アメリカ総領事） マルティン・エバーツ（ドイツ総領事） キャロリン・デービッドソン（イギリス総領事） ジャン＝マチュー・ボネル（フランス総領事） マーク・カウパース（オランダ総領事） テルスキフ・アレクサンダー（ロシア総領事） マルコ・ブレンチペ（イタリア総領事） イエルーン・ヴェルゲイレン（ベルギー大使館公使参事官） ブ・トアン・ハイ（ベトナム総領事） クリット・タンカナラット（タイ総領事） 趙 成烈（駐大阪大韓民国総領事） トレバー・ウィリアム・ホロウエイ（オーストラリア総領事） 多川俊映（興福寺寺務老院） ロニー・アレキサンダー（神戸大学大学院教授） 池長 潤（カトリック大司教） 千 宗守（武者小路千家家元） 高口恭行（一心寺長老） 小野善康（経済学者） 高木慶子（上智大学グリーンケア研究所） 前田万葉（カトリック 枢機卿）
理 事	福田里香（パナソニックホールディングス） 原 眞一（コーナン建設） 北山 隆（大阪音楽大学名誉教授） 宮島登美子（大阪ユニセフ協会） 小野敏夫（クラシック音楽興隆会） 室町鐘緒（三菱 UFJ 銀行） 森田一士（関西電力） 井上礼之（ダイキン工業） 中野剛志（三井住友銀行） 小林哲也（近鉄グループホールディングス） 佐野吉彦（安井建築設計事務所） 入谷泰生（新日本海フェリー） 鳥井信吾（サントリーホールディングス） 吉田有宏（千寿製菓） 杉浦 正（共和メディカル） 川崎益彦（桜宮ゴルフクラブ） 大林剛郎（大林組） 松田喜成（ニューオーサカホテルエンタープライズ） 山本啓之（ホテルモントレグループ）		
監 事	稲畑勝太郎（稲畑産業） 陳 英智（三洋実業）		

## 年表

### 1980s

1980

5月発足。第1回理事会開催。会長に鈴木剛氏が就任。

1982

3月、理事会にて顧問の設置が承認され、11月には顧問が決定。

12月、鈴木剛氏の逝去に伴い、原清氏が第2代目の会長に就任。

### 1990s

1990

10月、原清氏急逝。

1991

故原会長の後を受けて、監事の波多野一雄氏が第3代目の会長に就任。

1997

7月、大西正文氏が第4代目の会長に就任。

### 2000s

2007

7月、野村明雄氏が第5代目の会長に就任。

### 2010s

2016

7月、尾崎裕氏が第6代目の会長に就任。



## 法人会員

2023年7月現在

株式会社IHI 関西支社  
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
愛知時計電機株式会社大阪支店  
株式会社アイツーエム  
医療法人 友仁会 浅井整形外科  
朝日放送テレビ株式会社  
稲畑産業株式会社  
今津建設株式会社  
江崎グリコ株式会社  
大阪衛生株式会社  
大阪ガス株式会社  
大阪ガス株式会社 東京支社  
株式会社大林組 大阪本店  
関西テレビ放送株式会社  
関西電力株式会社  
株式会社カンダ  
共和メディカル株式会社  
近鉄グループホールディングス株式会社  
株式会社きんでん  
株式会社クボタ  
株式会社公益社  
鴻池運輸株式会社  
有限会社神戸楽譜  
株式会社公洋  
株式会社コジマ  
コーナン建設株式会社  
西部ガス株式会社  
桜宮ゴルフクラブ株式会社  
株式会社産業経済新聞社

三幸メリヤス株式会社  
サントリーホールディングス株式会社  
JFEエンジニアリング株式会社  
JFEスチール株式会社  
株式会社芝川本店  
情報技術開発株式会社  
株式会社新川製作所  
新コスモス電機株式会社  
新日本海フェリー株式会社  
シンプルライフ21  
住友生命保険相互会社  
千寿製薬株式会社  
損害保険ジャパン株式会社  
株式会社タイキ  
ダイキン工業株式会社  
株式会社大丸松坂屋百貨店  
大和ハウス工業株式会社  
株式会社竹中工務店  
帝国ホテル大阪  
株式会社電通 関西支社  
東京海上日動火災保険株式会社  
株式会社トーケンリースサービス  
東邦ガス株式会社  
中井エンジニアリング株式会社  
名古屋 宗次ホール  
南海電気鉄道株式会社  
西日本旅客鉄道株式会社  
日鉄 P&E 株式会社  
日本生命保険相互会社

株式会社ニューオーサカホテルエンタープライズ  
株式会社博報堂関西支社  
パナソニックホールディングス株式会社  
阪急電鉄株式会社  
非破壊検査株式会社  
フルライン株式会社  
ホテルモントレグループ  
株式会社三井住友銀行  
株式会社三菱UFJ銀行  
矢崎エナジーシステム株式会社大阪支店  
株式会社安井建築設計事務所  
一般財団法人山田満音楽芸術振興会  
読売新聞大阪本社  
読売テレビ放送株式会社  
学校法人LABO-K学園  
株式会社りそな銀行  
株式会社ロイヤルホテル  
ロックペイント株式会社  
株式会社ワキタ  
匿名3社

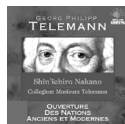
## 個人会員

2023年7月現在

安積 博子	小川 寛	楠 雄一郎	重 森 哲二	高 橋 香	橋 本 依子	山 住 嶮 植
天 野 和生	小 野 敏夫	久 住 祐治	鳶 田 潤作	田 中 佐代	廣 川 信一	由 良 恂一
池 田 英美代	小 野 久恵	黒 笹 倫代	清 水 淳彦	津 越 悦郎	福 居 誠二	吉 田 好道
泉 さおり	梶 原 健司	黒 田 千之	杉 浦 正	辻 本 泰規	藤 本 英子	米 沢 康
伊 藤 康夫	加 藤 光司	高 仁 宝	杉 本 千世子	David Jack	松 田 喜成	和 田 誠一郎
今 井 由美	加 藤 卓哉	小 作 英男	直 田 春夫	土 井 英一	三 木 依子	匿 名 30 名
内 田 友樹	金 多 賀 淑久	小 林 誠	角 南 忠昭	土 井 周子	南 茂 夫	
延 秀 恵	川 岸 弘賢	小 谷 公穂	鷺 見 和彦	東 條 良賢	三 宅 成典	
大 西 國 忠	菊 枝 英興	酒 井 俊幸	鷺 見 博子	仲 窪 菜穂子	宮 本 敏子	
大 西 淑子	菊 竹 開三	佐 藤 晴彦	鷺 見 良彦	中 西 守	家 辺 孝司	
岡 村 敬二	季 時 雨	里 見 悦子	園 崎 明夫	萩 原 登志子	山 口 敦子	
岡 本 好平	北 浦 告三	更 家 悠介	高 田 満 國	萩 原 直大	山 口 佳恵子	

〈敬称略・順不同〉

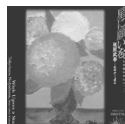
# 日本テレマン協会ディスコグラフィー Discography



- テレマン作品集 1  
WWCC-7406  
ディレクター：中野振一郎  
コレギウム・ムジコム・テレマン



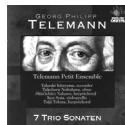
- バロック・オーボエ協奏曲名曲集  
WWCC-7432  
オーボエ：延原武春  
テレマン・アンサンブル



- 心のオーボエ  
WWCC-7478  
オーボエ：延原武春  
テレマン・アンサンブル



- 100人の第九  
WWCC-7543  
指揮：延原武春  
テレマン室内オーケストラ



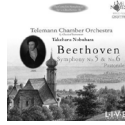
- テレマン作品集 2  
WWCC-7567  
オーボエ：延原武春  
リコーダー：北山 隆



- ベートーヴェン  
交響曲 第 1 番, 第 2 番  
WWCC-7610  
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン  
交響曲 第 3 番「英雄」, 交響曲 第 4 番  
WWCC-7622  
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン  
交響曲 第 5 番「運命」, 交響曲 第 6 番「田園」  
WWCC-7629  
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン  
交響曲 第 7 番, 交響曲 第 8 番  
WWCC-7639  
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン  
交響曲 第 9 番「合唱付」  
WWCC-7658  
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン  
「合唱幻想曲」 & 「ミサ曲 ハ長調」  
WWCC-7667  
(クラシカル楽器使用)



- 高田泰治 チェンバロ・アルバム vol.1  
WWCC-7684  
J.S. バッハ：パルティータ 第 2 番  
イギリス組曲 第 2 番 ほか



- マラー 亡き児を偲ぶ歌, 交響曲 第 4 番 長調  
WWCC-7695-6 (2 枚組)  
指揮：延原武春  
Orchestra Japan 2011



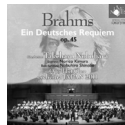
- ヴィヴァルディ  
ヴァイオリン協奏曲「ムガール大帝」「四季」  
WWCC-7706  
ヴァイオリン：浅井咲乃



- バッハ 6つのソナタ  
WWCC-7715-6 (2 枚組)  
ヴァイオリン：U. ブンディース  
チェンバロ：高田泰治



- 浅井咲乃の「よろこび」と「かなしみ」  
WWCC-7758  
F. クライスラー：「愛の喜び」・「愛の悲しみ」  
J. マスネ：タイスの瞑想曲 ほか



- ブラームス：ドイツ・レクイエム  
WWCC-7778  
指揮：延原武春  
Orchestra Japan 2011



- モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ  
WWCC-7783  
ヴァイオリン：U. ブンディース  
フォルテピアノ：高田泰治



- モーツァルト・アルバム  
WWCC-7788  
フォルテピアノ：高田泰治  
モーツァルト：ピアノ・ソナタ 第 14 番 ほか



- うつろい  
WWCC-7802  
チェンバロ・フォルテピアノほか：高田泰治  
L.v. ベートーヴェン：「月光」ソナタ ほか



- J.S. バッハ ゴルトベルク変奏曲  
WWCC-7823  
チェンバロ：高田泰治



- 古典派二重奏曲の系譜  
WWCC-7832  
ヴァイオリン：U. ブンディース  
チェンバロ・フォルテピアノ：高田泰治



- 高田泰治 ベートーヴェン・アルバム  
WWCC-7876  
フォルテピアノ：高田泰治



- ブランデンブルク協奏曲全曲  
WWCC-7901 ~ 2  
指揮：延原武春  
テレマン室内オーケストラ



- 高田泰治 ショパン & シューマン ピアノ協奏曲集  
WWCC-7906  
指揮：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治  
テレマン室内オーケストラ



- アヴェ・マリア 延原武春 心のオーボエ Vol.2  
WWCC-7928  
オーボエ：延原武春  
テレマン・アンサンブル



- 延原武春 × 小林道夫「無言歌」  
WWCC-7952  
オーボエ：延原武春  
ピアノ：小林道夫



- テレマン作品集 3  
WWCC-7957  
指揮：延原武春  
テレマン室内オーケストラ



- 高田泰治 クープラン一族のクラヴサン音楽集  
WWCC-7984  
クラヴサン：高田泰治



2022年度版 一般社団法人日本テレマン協会 活動報告書

発行 一般社団法人日本テレマン協会

〒530-0002

大阪市北区曽根崎新地2丁目1-17

TEL06-6345-1046

FAX06-6345-1045

tij@cafe-telemann.com

<http://www.cafe-telemann.com/>

